

R4. 11. 8 大和中学校 発言要旨 【周知版】

【提案・意見交換】

学生

●市長さんは、普段どのような仕事をされていますか。

市長

- ・市長の重要な仕事の一つに予算の編成がある。市議会の同意をいただき、5年間のまちづくりを第3次光市総合計画としてまとめ、こうした行政の計画に基づき予算の編成と執行を行うとともに、様々な取組のチェックも行っている。
- ・公式行事でのあいさつをはじめ、地域の人を元気づけること、市長の想いを地域の人に伝えることも大切な仕事である。
- ・地域の人との対話を通じて、地域の想いを予算に反映させ、このまちの発展につなげていくことが私の仕事である。

学生

●これから社会に必要となる人は、どんな人ですか。

市長

- ・「自分のことだけではなく、他人のことを考えて行動する人」である。自分のことだけではなく、友だちや仲間、家族のことを考えることが大切であり、こうした思いやりが、皆さんの幸せ、他の人の幸せにつながってくる。ぜひ、利他の心、人に良かれという心で物事を考える人になってもらいたい。
- ・また、これは人には負けないという自分の得意分野を作ってほしい。

学生

●まちづくりをすることで一番大切だと考えていることは何ですか。

市長

- ・市民の皆さんから話を聞くことに尽きる。私たちは、全ての市民の方から一人ひとり話を聞くことはできないので、市議会があり、市議会議員の人が地域の人と話をし、議会に意見を集め、私たちはまちづくりを行っている。
- ・一番重要なことは、地域の人と話をし、地域の人がどのような考えをもっているのか、一生懸命聞くことである。

学生

●光市は少子化が進んでいると聞いている。光市が子育てに関してサポートしていることはありますか。

市長

・少子化は光市だけの課題ではなく、日本国中で少子化が進行している。少子化の原因は様々なものがあるが、今から40年前には、「結婚を希望しない人」の割合は、男女ともに数%であったが。昨今では、男性が17%、女性14%と結婚を希望しない人が増えている。

・やはり、子育てにお金がかかることは大きな問題であり、子育て支援に関する思い切った政策を、市ではなく国が展開しなければ、少子化が更に進んでいくと思っている。

・光市では、中学生までのすべての子どもに係る医療費助成をはじめ、子どもを希望する人に向けた不妊・不育症治療の支援や出産後のケアなど、妊娠から出産、育児といったそれぞれの段階で必要とされるサポートを行っている。

学生

●私たち中学生が大きな施設を造ったり、お金を出したりすることは難しいけれど、私たち中学生が、光市のためにできることはありますか。

市長

・私が中学生の皆さんにお願いしたいのは、地域に出て、地域の人と一緒に地域のための活動をする事。光市には「15歳は地域の担い手」という有名なキャッチフレーズがある。皆さん方が地域に出て、地域のために活動をしてくれることが、一番ありがたい。

・大和中学校の皆さんが、これまで以上に、活動してくれることを願っている。

市長

●【市長から生徒に向けて】

・中高生から「光市は遊ぶ場所がない」という意見や、「遊ぶ場所を作ってほしい」という要望をよく聞く。皆さんが遊ぶ場所はどのような所なのか、聞かせてほしい。

学生

●柳井市のウェルネスパークには、大きな遊具がある。大きい遊び場や、バスケットコートある施設をつくって欲しい。

市長

・ゲームセンターやショッピングセンターといった回答を予想していたが、ウェルネスパークのようなバスケットコートのある公園であれば、将来的には整備が可能だと思っている。

・私が思う「遊び」は、キャンプやハイキング、海で泳ぐことや登山などである。私は、「遊び」の中で、仲間と一緒に計画を立てて、必要なものを揃えて、役割分担をしていた。これが本当の意味での「遊び」だと思っている。こうした「遊び」の満足感は素晴らしい。満足感や達成感があるからこそ、「遊び」であると考えている。

学生

●光市では高齢者と若い人で意見が違うと思いますが、どちらを優先しますか。

市長

・どちらの意見も大切である。しかしながら、対話の取組などを通じて、高齢者の意見はたくさん入ってくるが、若い人の意見はなかなか入ってこないため、若い人の意見を聞く場を作らなければならないと考えている。